

# スローテンポ通信

第 52 号

2021年12月16日

発行:スローテンポ書店

〒323-0023 小山市中央町3-7-1 ロブレ地階

☎ 0285-32-7211

Eメール [usagimokamemo@gmail.com](mailto:usagimokamemo@gmail.com)

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

## ◎ 今月もおすすめの2冊!

ベストセラーや売れ筋の本にはないよさがあります。

### ○『北斗星に乗って』

広小路尚祈 著 桜山社 2021年

☆☆☆☆

寝台特急「北斗星」にまつわる8つの短編小説集だ。中でも「週末のサラリーマン」は特別におもしろい。

小さな商社に勤める主人公が、毎月週末を利用して「北斗星」に乗り、いろんな人々と関わって成長をしていく物語だ。

特に、引きこもっている人や一人で悩む人におすすめだ。見ず知らずの人とふれあうことで新しい世界を知り、まがひなく自分を変えるきっかけになる。列車の旅は、現代日本人が忘れてしまったスローテンポのよさを再発見させてくれる。

### ○『難民からまなぶ世界と日本』

山村淳平 著、解放出版社 2015年

☆☆☆☆

新聞、テレビ、ネットニュースなどでは都合のよいニュースしか流れてこない。真実を知るために最も頼りになるのが本である。

この本は、日本政府の難民に対する考え方や実態を伝えるだけではない。解説する著者の考え方が一貫していてわかりやすく、確かにそうだ共感する。

難民は支援すべき存在なのではない。世界と日本と我々を映し出す鏡である。

今、世界はグローバル化に向かうと同時に、文化は多様化に向かっている。その陰に隠れるように、日本は、表向きとは裏腹に相変わらず閉鎖的である。

この本を読むと、日本という国に対する幻想が吹き飛ばされる。

## 課題解決型が世界を平和にする

スローテンポ書店は、いつも課題解決型を提唱しています。懇話会も課題解決型で進め、出版社やビル管理会社なども課題解決型で交渉を進めてきました。スタッフが講演を頼まれるときも、課題解決型を訴えます。

### 課題解決型とはどういうものか?

- ① 不満や困り事の事実を整理する。
- ② 問題の原因を見つける。
- ③ 解決するための課題を探る。
- ④ 課題解決の方策を考える。

当たり前のことのように、人は感情的になると冷静にはなれないし、一旦思い込むとそれにとらわれてしまいます。

それを防ぐには、一人で考えないで、誰かに相談するのがよさそうです。

けれど、思い込みが強ければ、人の話も聞けなくなります。都合のいい話は受け入れますが、自分にとって不都合だと感じたら、頭から否定します。

こうなると、話し合いにはなりません。多くの場合、「心の病じゃない?」として相手にしてもらえなくなります。

心の病の治療については、大きく分けて二つの考え方があります。

一つは、当人の思い込みを受け入れ、どこまでも寄り添います。もう一つは、思い込みに気付かせ、ものごとを冷静にとらえられるようにするというものです。

二つは対立すると考えるのではなく、状況に応じて、いずれでも良い点を取り入れればよいのです。

それよりも、もっと厄介なのは、立場の対立に持って行こうとする考え方です。ここでは、**立場対立型**と呼びましょう。

**立場対立型**とは、問題の原因が利害の対立にあるとし、どちらの主張が正当であるかを争います。

この考え方は、欧米型民主主義とともに導入され、学校でも盛んに教えられてきました。

民主主義とは、立場の対立を平和的に調整するものであり、選挙制度も裁判制度もそのためにあると教えられます。

この考え方に慣れるように、学校でもディベートが取り入れられています。

**立場対立型**ばかりが強調されるから、**課題解決型**が置き去りにされてしまっているようです。

でも、これら二つは対立するものではなく、問題を見つめる角度が違うだけです。ケースバイケースで、いずれも良いところだけをとり入れればよいのです。

例えば、立場の主張に明け暮れる国会論戦は、少しでも**課題解決型**を導入すれば、少しは実りある議論になるでしょう。

**立場対立型**は、論点を整理して対立点を明確にする効果がありますが、その一方、最大の問題点は、対立の構図を固定してしまい、話し合いや考える方向を、勝ち負けにしてしまうことです。

そのため、力のある者や多数派が常に勝利し、弱者や少数派の主張は通らなくなります。

多数決は少数意見を排除するために利用され、裁判に勝利するのは、おカネをかけて有能な弁護士を雇った側となります。

選挙制度や裁判制度に反対だと言うものではありません。問題点が見つければ少しずつ改善していけばよいのです。

そのための一つが、**課題解決型**を取り入れることです。

世界で起こる紛争や国家間の対立も立場の対立から始まっています。双方とも立場の主張ばかりでは解決になりません。

国際社会で平和主義を標榜する日本なので、先頭になって**課題解決型**を掲げ積極的に仲裁をくり返していけば、紛争はおさまり世界は平和になるでしょう。

**課題解決型**とはどんなものかを知りたい方は、スローテンポ書店の**懇話会**にどうぞ参加してください。

(懇話会での話題から、ブログより抜粋)



ベストセラーばかりが  
おもしろいとは限らない

**スローテンポ書店**

小山駅西口 **ロブレ**地階

消毒や換気などの対策をして、  
通常通り営業しております。

どうぞマスクをつけて来店ください。

オープン: 火~土 13時~19時 (日月祝日休み)

## ☆ 懇話会

**課題解決型**で進めます。困りごと悩みごとをお話ください。参加者たちの知恵とアイデアで解決を目指します。

土曜日 午後3時~5時、参加無料。

## ☆ 伝わる文章教室

文章を書く機会がなくなりました。この講座は伝えたいことが、きちんと相手に伝わることを目指しています。書くことで自分の思いが整理されます。書店に参加者の作品集があります。

木曜日 午後3時~5時。